

## 令和4年度第2回高知県健康づくり推進協議会 議事要旨

日 時：令和5年2月21日（火）18:30～20:30

方 法：Zoom システムを使用したオンライン会議

（県庁会場：高知県庁本庁舎4階 健康政策部長室）

出席者：16名（1名欠席）、代理出席1名、事務局7名

### 議題（1）高知県の現状について

事務局より資料1をもとに高知県の現状について説明を行った。

#### 【質疑等】

- ・質疑なし

### 議事（2）第4期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の推進に関する取組について

#### ①各専門部会について

事務局より資料2をもとに各専門部会の開催状況等について説明を行った。

#### 【質疑等】

- ・委員より、来年度の各専門部会の開催方法について質問があり、事務局から、来年度は次期計画策定の年にもなるため対面で開催する旨回答した。

#### ②第4期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の推進に関する令和4年度及び今後の取組について

事務局より資料3及び補足資料をもとに令和4年度の取組及び今後の取組について説明を行った。

#### 【子どもの頃からの健康づくりの推進】

- ・委員より、朝食欠食率には物価高も影響しているのではないかと、また、若い子育て世代へのアピールが必要であると思う旨意見があった。
- ・委員より、市町村ごとの朝食摂取率の向上対策の評価について質問があり、事務局から、食育講座については、公立小学校の半数以上の学校で実施しており、実施校での朝食摂取率は未実施校に比べ、維持・向上していることを報告した。また、令和5年度は教育委員会と連携し、朝食摂取率の低い学校で実施できるよう取組強化を図る旨回答した。
- ・委員より、健康づくりの基本は、子どもの頃からの食生活等の生活習慣であるため、引き続き取組とその評価の必要性について意見があった。

#### 【働きざかりの健康づくりの推進】

- ・委員より、健康パスポートアプリは歩数のデータをGoogleFit等と連携しており、連携していないとアプリだけでは歩数がカウントされない仕様になっているので、閉鎖的な部分を感じる。もっと広くみんなが活用できる環境づくりが大事だと思う。また、朝の5時には2万歩歩いている方とか、少し考えられない数字の方達がいる。少し調べたら、Google側でデータを入力したり変更したりできるようで、そういった不正な行為が行われることで、ユーザ

一のやる気を損なってしまうのではないかという懸念がある。また、アンケートの中でどういふことをアプリでしてほしいかという意見でどうだったかを教えてほしい。最後に、アプリの中でユーザーに提供する動画があるが1度見たら終わりなので、今後の情報発信についても改良を加えてほしいという意見があり、事務局から、アプリの歩数計測機能は委員が言われた通りで、アプリそのものに計測機能を持たすことができおらず、他のものと連携せざるを得ない状況である。歩数を入力できることは、(万歩計の使用等で)入力が必要な面もあり、改善点を見いだせていない。アンケート調査については、プレゼントキャンペーンの商品をもっと豪華にしてほしい、特典提供施設の増加を希望する声が多くあった。健康に関する動画や情報については、来年度、市町村からも住民の方などに向けて、健康づくりに関する情報などを発信していけるよう進めていく旨回答した。

- ・委員より、アプリの目的としては、運動していない方に運動をしてもらうことだと思うので、どこにターゲットを絞ってどう発信するかをもう少し具体的に絞って、内容や情報を発信していくとよいという意見があり、事務局から、アプリのイベントは、上位入賞者に賞品券等が当たる仕組みになっているが、ひと月の取組の中でブルーのポイントを8ポイント以上集めた方を対象に抽選で賞品を提供するなどの仕組みも今年度は取り入れている。来年度も上位入賞者に限らず皆様が取り組みたいと思えるようなイベントができるよう検討していく旨回答した。
- ・委員より、市町村ごとに歩数をカウントできないかという意見があり、事務局から、今の機能でも集計できるようになっている。各市町村が県内でどのくらいの順位にいるのかなどを示したらどうかといった意見もいただいているので、来年度の取組として検討している旨回答した。
- ・委員より、健康づくり婦人会としては、まずはアプリをスマホにダウンロードすることから始めないと前に進みにくいため、管内ごとの研修会等でアプリをダウンロードしてみるといったような取組を行っている。自分でアプリをダウンロードできない方もたくさんいるので、そういったことに詳しい方の力を借りながら進めている旨報告があった。
- ・委員より、アプリのダウンロード数における男女比について質問があり、事務局から、男性：女性=1：2で女性の方が多い旨回答した。

#### 【生活習慣病の発症予防と重症化予防対策】

- ・委員より、それぞれの病院で血管病調整看護師の育成は行っているが、それをどのように広げていくかが課題である旨報告があった。
- ・委員より、令和4年度は二次医療圏域ごとに症例検討会を実施したが、外来栄養食事指導対象者は、高齢者が多い傾向にある。高齢者糖尿病の方のHbA1cは8%と高いが、一概に高いからということではなく、患者の特徴や健康状態、重症低血糖のリスクなどを考慮して、指導していると報告があった。
- ・委員より、本計画の指標に基づきHbA1c7%以上で評価等を行っているようだが、高齢者はフレイルの問題もあるので、その数字だけに特化して評価することは、注意が必要であるという意見があった。
- ・委員より、各取組の目標の達成が難しいのではないかと思うが、次期計画をつくるにしても

事務局としてどう総括していくのか、現時点での見解について質問があり、事務局から、コロナの影響もあり厳しい状況が続いている。先ほどの子どもの朝食摂取率についても目標が高すぎるという意見をいただくが、全国平均の差やそのトレンドを見て全く効果がないわけではないと総括している。委員の皆様の専門的な立場から次期計画の目標達成に向けて、どのような取組が必要で、その取組の評価をどのような数値で見ていくかについて助言いただきたい旨回答した。

#### **【分野ごとの健康づくりの推進】**

- ・委員より、市町村歯科健診の対象者に差があるのでそういった点も課題だと思ふとの意見があり、事務局から、市町村ごとに対象年齢を設定してるので難しい部分はあるが、歯科健診については国でも議論されており、国の動向を見ながら市町村支援を検討していく旨回答した。

#### **議事（3）第4期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の推進に関する令和5年度の取組（案）について**

事務局から資料4をもとに令和5年度の取組（案）について説明を行った。

#### **【質疑等】**

- ・委員より、特定健診・特定保健指導のテレビCM・インターネット広告のターゲットの絞り方及び効果的な受診勧奨として工夫する点について質問があり、事務局から、担当課に確認し、後日回答する旨回答した。

⇒（回答）

配信の対象者は、特定健診受診率の低い年齢層（40歳代前半）及び節目の歳となる50歳・60歳と39歳へ特定健診受診対象年齢前を想定している。WEB広告、YouTube広告、SNS（Instagram、Facebook、Twitter）広告に掲載予定で先の対象者へ配信できるようアルゴリズムを用いて配信する。また、各年齢の印象に残りやすい言葉やイラストを用いることで受診勧奨の効果を高める。

#### **議事（4）第5期高知県健康増進計画（よさこい健康プラン21）の策定について**

事務局から資料5をもとに次期計画の策定スケジュール等について説明を行った。

#### **【質疑等】**

- ・質疑なし

以上をもって閉会した。